



港区内で活躍している人をご紹介します！

[>> バックナンバー](#)

ミュージックトレイン 音楽スクール代表

ばんどう ひろみち
坂東 弘道さん

音楽を通じて会話するジャズは一生の楽しみ



ジャズ好きにとって、コンサートやライブは生の演奏に触れられるチャンス。

最近では、聴くだけでなく演奏する人も増えているとか。

12月の『赤坂区民センターふれあいコンサート』に出演される坂東弘道さんは、01年に港区高輪で音楽教室を開設。

教えながら、ライブ活動などでも活躍されています。

「私がギターを始めたのは中学時代。当時はフォークソングが大好きで、島根県から東京の大学に進学し、ロックバンドを組み、それからずっと音楽に関わってきました」。

そんな坂東さんがジャズに傾倒したのは、30歳を過ぎてから。

自分を自由に表現できるアドリブに魅力を感じ、閑院義仁(矢口幸信)氏や布川俊樹氏に師事したそうです。

「ところが、最初に練習したスタンダードの『all of me』で撃沈。

ロックをやっていたので演奏には自信があったのですが、ジャズの演奏は、ダイアトニックや裏コードなど、別の脳を使うんです」。

それから本格的にジャズを学び、その後、音楽教室を開くことに。

「私も遅いスタートでしたが、ジャズはいつ始めてもいいもの。ゴルフや語学もそうですが、基本をしっかり学べば自由なプレーができる。一生ものだと思いますね」。

50名を超える生徒さんと一緒に、港区湾岸レストランやライブハウスで演奏会も行います。

「ジャズは楽器が違っても刺激し合えるし、セッションは音楽を通じた会話です。私も、みんなの演奏から刺激されることがたくさんあります」

坂東さんが港区に住み始めたのは17年前。

子供が生まれたのが契機だったそうですが、その娘さんも今では友人とバンドを組み、11月の明治学院大学ホールの『白金高輪グリーンミュージックフェスティバル』に出演されるとか。

「ドラマーの子が受験なので、私が代役で出ます。娘たちからも良い刺激をもらってます」。

家族で楽しめる音楽は、一生の宝物ですね。

12月の『赤坂区民センターふれあいコンサート』では、大人から子供まで楽しめるジャズの名曲とクリスマスメドレーを演奏予定。

女性ばかりのビッグバンドや、坂東BAND&女性デュオと一緒に、あなたもクリスマス気分でスイングを楽しみませんか。

[▲このページのトップへ](#)

| [個人情報保護について \[PDF\]](#) |


Kissポート財団 

(公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団)

港区赤坂4-18-13赤坂コミュニティーふらざ

電話: 03-5770-6837/Fax: 03-5770-6884

お問い合わせ: fureai-info@kissport.or.jp

 [Kissポート財団について](#)



JQA-QMA12663
JQA-EM4580



10861140(03)

このホームページはKissポート財団の公式ホームページです。このホームページのすべての権利は当財団に帰属します。
当財団の許可なく複製、転載は出来ません。